

ドナー事例支援報告書

研修者 氏名 末梢血 結

【ドナー事例】 No. 1 / 2

対象事例紹介（年代・性別・家族構成・キーパーソン） ※非血縁ドナーは家族構成・キーパーソン不要				
【患 者】 20代 女性 独身 疾患：急性骨髄性白血病 CR1 きょうだい：兄1人 【ドナー】 30代 男性 妻と子1人（5歳の男）の3人暮らし キーパーソン：妻 隣県在住 すでに指導 HCTC からドナーへ電話による問診により問診、日程調整済み。 兄から採取可能であれば最短7月上旬ごろ移植を希望との方針				
採取日	20xx/ 6/21	採取方法	BMH・PBSCH	ドナーID※1 RS-11111
対象	血縁・非血縁	介入開始時期	HLA 検査前・採取前健診時・その他[]	
全過程介入事例		はい・いいえ		
介入日	見学・実施	介入内容		
5/11（火）	見学 実施	・ドナー、妻、指導 HCTC の初回面談に同席。パンフレットを使用し移植や採取の説明、理解度の確認・・・・・・・・ 提供に関する思い・・・・・・・・や意思を確認・・・・・・・・ ドナー、妻より同意を得られ HLA 検査施行。・・・・・・・・ 検査結果通知の方法を確認し日程調整を実施（5月21日14時に電話連絡）		
5/21（金）	実施	・HLA 適合されたため、再度意思確認、ドナー担当医 IC と採取前健診の日程調整を行うための電話を指導 HCTC 立ち合いの下実施・・・・・・・・ （職場、妻と日程調整を実施後折り返し連絡をいただけるとのこと）		
5/31（月）	見学 実施 見学	・ドナー担当医からの IC に指導 HCTC とともに同席 ・IC 後指導 HCTC とドナー、妻へ面談を実施し意思確認を実施・・・・・・・・ ・健康診断に同行。アフエレーシス室の見学に同席・・・・・・・・		
6/ 4（金）		すでにドナー担当医からの健診結果報告、採取方法の決定（PBSCH）、ドナー団体傷害保険案内済みであったため、経過と説明内容について指導 HCTC よりレクチャーを受けた		
6/18（金）	見学	・ドナー入院、ドナー担当医診察に同席、G-CSF 投与開始 ・病室訪問・・・・・・・・		
6/21（月）	見学 実施	・PBSCH 見学 ・採取中コミュニケーションを図りアフエレーシス Ns と共に良肢位の確保と苦痛緩和に努めた・・・・・・・・		
6/22（火）		・1日で採取を終え退院・・・・・・・・ 6/25 で認定研修終了のため採取後健診には介入できず、お礼を伝えた		

※1：ドナーID は、血縁ドナーはドナー登録番号、骨髄バンクドナーは骨髄バンクドナーID を記入してください。

※HCTC として実施した相談・支援内容などを丁寧に記入してください。

20xx 年 6 月 25 日 研修指導者署名

移植 花子

